

## ■坂入 健司郎 Sakairi Kenshiro / 指揮

1988 年生まれ、神奈川県川崎市出身。慶應義塾大学経済学部卒業。

これまで指揮法を井上道義、小林研一郎、三河正典、山本七雄各氏に、チェロを望月直哉氏に師事。また、ウラディーミル・フェドセーエフ氏、井上喜惟氏と親交が深く、指揮のアドバイスを受けている。13 歳ではじめて指揮台に立ち、2008 年より東京ユヴェントス・フィルハーモニーを結成。これまで、J.デームス氏、G.プーレ氏、舘野泉氏など世界的なソリストとの共演や、数多くの日本初演・世界初演の指揮を手がけている。2015 年、マーラー交響曲第 2 番「復活」を指揮し好評を博したことを機に、かわさき産業親善大使に就任。同年 5 月には、MOSTLY CLASSIC 誌「注目の気鋭指揮者」にも推挙された。2016 年、新鋭のプロフェッショナルオーケストラ・川崎室内管弦楽団の音楽監督に就任。その活動は、朝日新聞「旬」にて紹介された。2018 年には東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に初客演しオルフ「カルミナ・ブラーナ」を指揮、成功を収め、マレーシア国立芸術文化遺産大学に客演するなど海外での指揮活動も行なった。2020 年、日本コロムビアの新レーベル Opus One よりシェーンベルク「月に憑かれたピエロ」をリリース。2021 年 1 月に愛知室内オーケストラへ客演、ブルックナー交響曲第 3 番を指揮し名古屋デビュー。同年 8 月には名古屋フィルハーモニー交響楽団に初客演。名古屋・東京にてロシア・プログラムを指揮し脚光を浴びた。2022 年 2 月には、日本フィルフィルハーモニー交響楽団へ客演し、サントリーホールデビューを果たした。

これまで、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演し、今後は京都市交響楽団などへの客演も予定されている。

東京フィルハーモニー交響楽団とは今回、初共演になる。